

みこむだこ

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

〒140-0001 品川区北品川2-2-10 TEL 03-3472-4772 FAX 03-3472-4770

URL <http://www.246.ne.jp/~fuji/> E-mail: syukuba@ete.ne.jp

北品川駅前に東海道品川宿周辺の案内板が設置されます

去る6月22日(火)ホテルラフォーレ東京において、京浜ロータリークラブ10周年記念式典が盛大に開催されました。

当日、まちづくり協議会からは堀江会長と事務局員が出席し、案内板を製作するにあたり協力したことへの感謝状までいただいてしまい恐縮してしまいました。

席上10周年記念事業として、品川区に品川宿周辺の案内板が寄贈され、高橋区長に目録が手渡されました。品川区は、この案内板の寄贈を受け、9月に品川宿の玄関でもある北品川駅前に設置をして下さることになっており、今後まちを訪れて下さった方々も喜んで利用して下さいましょう。

品川宿周辺案内板設置につき、ご尽力賜りました京浜ロータリークラブ・品川区に対しまして、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

品海公園改修工事

昭和44年開園以来、地域の方々に憩いの場として親しまれてきた品海公園が今年度改修されることになりました。これまで昭和63年にトイレが設置されて以外大きな工事は行われておらず、ほとんど開園当初のままになっておりました。今回品川区が園内の段差解消を主目的とした改良工事を行うことになり、去る8月4日(水)PM7:00~北一会館において説明会が開かれました。その際地元の要望として、

- ①旧東海道に面した入り口部分を多目的広場として使用できるようにして欲しい。
- ②砂場の撤去
- ③見通しを良くして欲しい。
- ④トイレの位置や修景を考えて欲しい。

等々の意見が出され、品川区としても前向きに予算内で出来ることは考えて下さることになりました。また、まちづくり協議会から入り口植え込みに『品川宿の松』を寄贈、植樹させていただく予定です。

品海公園が品川宿の名所としてどのように生まれ変わるか楽しみです。まちづくり協議会としましても地元と協力して、完成後も継続して品海公園を含め修景やまちづくりの提案をしていくつもりです。

スイス・ジュネーヴ市より ビネット夫妻来日

スイス・ジュネーヴ市商工連合団体とまちづくり協議会とが友好提携結んだ当初からお世話になっている ルネ・ビネット氏と夫人が6月初旬に来日され、6月8日(火)に歓迎会を開催して旧交を暖めました。ビネット氏の話では、2001年が友好提携を結んで10周年にあたるので、その年は大勢の訪問団にて来宿して10周年を盛り上げる。ついではその前年にイベントをジュネーヴ市にて開催する予定ですので、是非来て欲しいとの要請がありました。2001年は東海道400年祭の他ジュネーヴ市との友好提携10周年!これからは品川宿から目が離せない!!



東海道五十三次一宿一席寄席
(東海道400年祭落語宣伝隊)

今年4月晴れて真打になられた落語家 桂 敬助師匠が、『2001年東海道400年祭落語宣伝隊』として、東海道を出来る限り歩きながら一宿一席寄席を開き、心付けを路地に京都を目指すという試みがスタートした。6月27日(日)日本橋にて出発式。品川宿を含む各宿場の人達に水杯で見送られ旅装束で出発。翌28日(月)品川宿では南川 天妙園寺本堂をお借りして、120人以上のお客様が敬助師匠の高座を堪能した。8月29日(日)京都 八坂神社神楽殿落座歴史奉納落語を行い、めでたく上がりとなる。また、今回の旅に付き添う形で、大徳宿旅人俱樂部 齋藤 儀衛門氏が同行。齋藤氏は両家でもあることから、『新東海道五十三次』の絵を完成させる。この試みによりはじめて東海道五十三次全ての宿場が繋がったことになり、東海道400年祭を控えることと大きい。



6月27日 日本橋出発

わらじの紐を解いて

東海道の旅も無事に終わりました。これもご支援いただいた、実行委員ならび各宿場の皆様方のお陰と感謝しております。特に無一文で旅に出た私を品川の皆様方々暖かく迎え、長旅に出掛けた私に勇気と自信を与えて下さりました。今回の皆様方のご恩に報いる様に努力して参ります。この旅を終えて一つお土産ができました。来年の水戸賣門に出演することが決まりました。役柄は「うたすけ」と言う名の新米先達の役です。先達は今の言葉でツアーコンダクターまたは旅行の水先案内人と言った所でしょう。貴門御一行とは違う旅をしていて所々で出会っては貴門様に旅や宿場について説明しようとするのですが、なにしろ新米でたどたどしい。旅慣れた貴門様の方が一枚も二枚も上手という、三枚目の役です。再来年は東海道宿駅水戸が出来て400年を迎えるにちなんで、来年の水戸賣門のシリーズは東海道を歩きます。3月6日放映が小田原宿、4月24日が浜松宿の巻。この二回には出ることが出来ます。それ以降は私の演技力と当日の機転力にかかっています。ですから、3月6日と4月24日は必ず夜6時から水戸賣門にチャンネルを合わせてもらいます様お願いいたします。旅行やりの許今、東海道を歩いて旅する人も少なくない聞いております。これから東海道各宿場の先頭になり五十三次の御作り、街道作りを行っていただきたいと思っております。東海道の魅力に取りつかれた私は、今度は懐かしいに会い、気ままに歩いてみたいと思っております。本当にありがとうございました。

桂 敬助

スィス・ジュネーブ市よりホームステイ来日

8月2日(月)かねてより予定されていたジュネーブ市よりのホームステイ一行17人が来日した。我が品川宿では、6月初旬に来日されたピネット夫妻の娘さんをお世話させていただくことになった。8月4日(水)ウエルカムパーティ。13日(金)ザウスにてスキー。14日(土)きよならパーティ。般洲八幡神社本社大神輿担ぎ体験。15日(日)お土産探し等々営業の壁にぶつかりながらもそこは品川つ子の物性じしな性格で意思疎通もバッチリ!お互いにとてもいい思い出になりました。

16日(月)また逢うことを約束して、一行は次の目的地京都へ旅立つのでした。後に残された日本語の発音が変になってしまいがちな品川宿のメンバー達に幸あれ!お疲れ様でした。



電子御用聞きシステム「宿場便」
現在、まちづくり協議会が展開している色々なプロジェクトの中で、最も苦戦を強いられているのがこの電子御用聞きシステム「宿場便」ではないだろうか。

当初の目標に比べると、今の所顧客(会員)数・稼働(注文)数共に随分少なくなってしまうている。当初会員になられた商店街周辺に住んでいる方々と言うのは自分の家から一歩外へ出れば買ひ物が出来るのだから、元々多少の需要を見込むのは虫のいい話と言うものではなかったのだろうか。

その為、それ以降の会員の方々は募集して、徐々に外側から商店街周辺以外から集まるようにしており、今後は更に、このシステムの生き残りをかけて最大の需要を見込めて、しかも最後の砦と目されている八潮地域をも視野に入れてアプロウチを懸けて行かなければならないのだ。

しかし、だからと言って顧客を獲得する為に安易に外側エリアを広げて行けば、今現在の主力の配達手段である自転車を使う事は困難になるという二律背反した問題を内在してしまう事になるのだ。

そんな最中に、配達担当者の交代があった。この御用聞きシステムの立上げの時から、長時間の会議にも参加してくれ、又我々の無理難題を聞いてくれたエッグサービスの工藤さんが、諸般の事情により続けられなくなったとの事で9月17日(金)を以って退任された。工藤さんは、この宿場便の配達には、交通渋滞や一方通行などを考えたと、バイクや自動車よりも自転車が有効であると、自ら改造自転車を購入して配達をしてくれていた。今までに本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

今後配達を担当して下さるのは、小泉さん。北品川2丁目的小泉瀬戸店のご主人で、普段もご自分のライトパンで配達のお仕事をされているので、土地勘もバッチリとか。自転車を使えば、

SYUKU 東海道四百年
～あらたな出発!2001～

来る2001年は、東海道の程程制定が1501年に決められてから400周年を迎えます。2001年には東海道各宿場にてイベントが企画されています。

我が品川宿も400才の誕生日をみんなで見よう!

多少のエリアの拡大も心配ないだろう。
何れにせよ9月末には、八潮にも品川ケーブルテレビが配信され、宿場便のテレビコマーシャルも流れるし、(不肖私が出演しております)、時期を同じくして新聞の折り込みチラシも入る手筈になっている。もう後戻りは出来ないのだ。みんなの知恵と力を合わせて頑張ろう。

電子御用聞きシステム責任者 篠原典男

第9回しながわ宿場まつり

今年も来る9月26日(日)に恒例のしながわ宿場まつりが開催される。昼頃より大パレードがスタートし、青物横丁まで行進。各地でイベントが繰り広げられ、フリーマーケット・模擬店等も所せましと立ち並び、盛りだくさんの内容で1日中楽しめる。中でも人気は江戸風俗行列。タイムスリップして江戸庶民と記念写真を撮るのもいい。また、人力車・駕籠にも乗ることもできる。同日、品川寺にて行われる『火渡り荒行』は一般参加もでき、一見の価値あり。是非当日おいでいただき、宿場気分を満喫してほしい。



会員募集

品川神社例大祭(北の天王祭)6月4日(金)~6日(日)
荏原神社例大祭(南の天王祭)6月11日(金)~13日(日)
が天候にも恵まれ盛大に行われた。北の天王祭の連合渡御と本社神輿宮入り・南の天王祭の御神面神輿海中渡御(かっぱ祭り)と連合渡御。どれも担ぎ手・見物人と大勢の人で賑わい、まちは祭り一色になった。祭りを見ていると品川もまだまだ捨てたもんじゃない!そんな意を強くします。魅力のあるまちには人は自然と集まるんですよ。普段から賑わいのあるまちにしていくにはどうしたらいいか?まちに何をしてもらえるか、ただ口を開けてヒナのように待っているは何も生まれません。これからは、自分達一人一人がまちに何が出来るかを考えていきませんか?そんな仲間をまちづくり協議会は募集しています。会員達は皆品川というまちが好きで、まちに来てくれた人に「いいまち」「また来てみたいまち」「住みたいまち」、住んでいる人には「ずっと住み続けたいまち」と思ってもらいたい!子供達に胸を張って品川生まれを自慢してもらいたい!自分達のまちは自分達で作っていきよう!という者達の集まりです。品川が好きな方々!我々といっしょに活動していきませんか?

第12回東海道53次シンポジウム 小田原宿大会開催日決定!!

平成11年11月20日(土)
小田原市市民会館
今回も参加を予定しております。

編集後記

宿場まつりも押し迫り、準備と「みこしだこ」編集作業に追われながらの毎日でしたが、やっと九月発行に「ぎぎつ」ができました。これで当分楽になる...と思いきや、十月の「保土ヶ谷宿場まつり」十一月の「三島宿場まつり」「大磯宿場まつり」「東海道シンポジウム小田原大会」とまだまだやることは目白押しです。各宿場より「しながわ宿場まつり」にもおいでいただいていることだし、今度は品川宿が向いて各宿場を盛り上げる番です。さあ!今年も、あともうひと頑張り!!!

(大越 記)